

接地SPD盤（SPD付）

取扱説明書

2019. 3. 5 制定

2021. 11. 5 改定

- ▲警告** ・ 本器を使用する前に本説明書をよく読み、正しく安全に使用してください。
・ 本説明書はいつでも利用できる場所に保管してください。

本説明書には、以下の記号で表示された安全に関する注意事項が記載されています。必ず守ってください。

- ▲警告** 守らないと死亡または重傷につながる可能性がある事項です。
▲注意 守らないと傷害または物的損害につながる可能性がある事項です。

また、以下の記号で表示された取り扱いに関する留意事項等が記載されています。

- ① 守らないと本器の動作不良または損傷につながる事項です。
㊦ 本器のより適切な使用に役立つ情報です。

1. 安全に関する注意事項

- ▲警告** ・ 本器の使用中は端子に直接手を触れないでください。
・ 本器をぬらしたり、ぬれた手で触れたりしないでください。
▲注意 ・ 本器の分解や、改造はしないでください。
・ 本器を本説明書に記載されている以外の用途に使用しないでください。

2. 概 要

本器は、接地を連結結合し、落雷の際、異なる接地極間に発生する電位差を解消し、設備接地の等電位化を図ります。

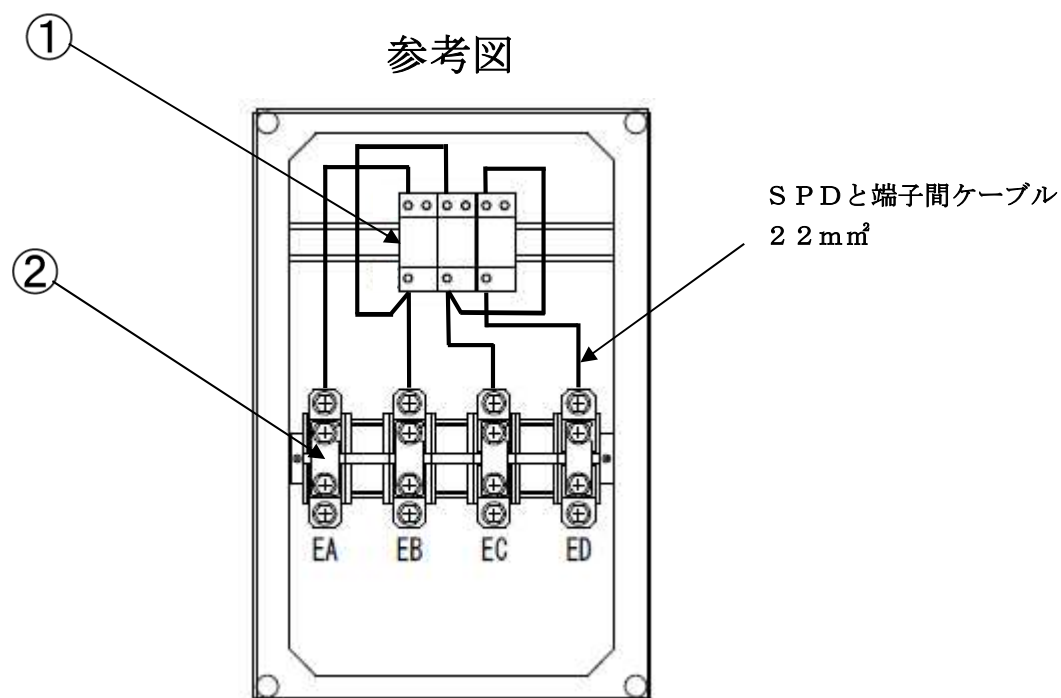
- ▲注意** ・ 本器へ接続するケーブルは、本器の型式に適合するケーブルをご使用ください。

落雷の強度や状況によっては、極めてまれに本器の仕様を上回るサージが発生し、保護対象機器に影響が及ぶ場合があります。

3. 各部の説明

①接地間用SPD

②接地端子台 (M10)



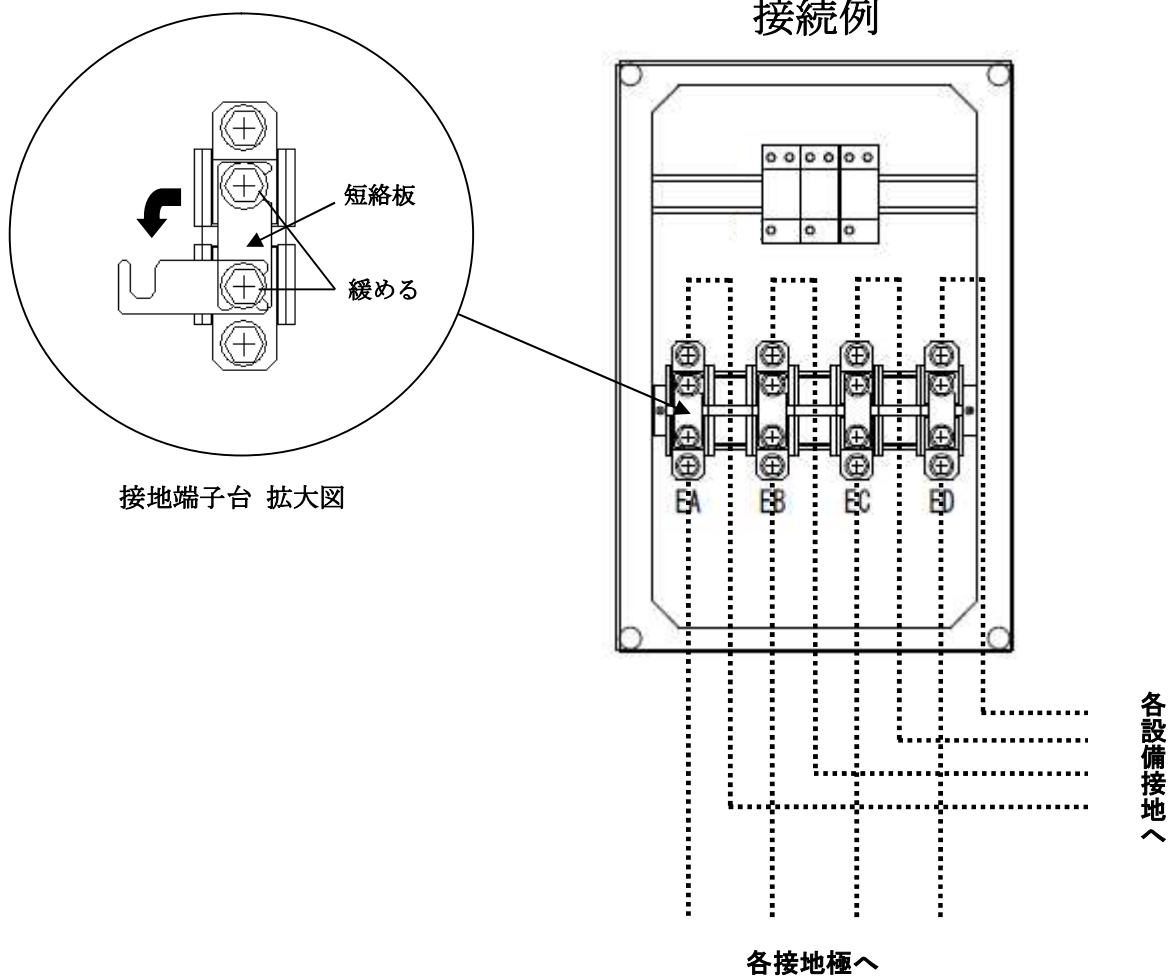
※上図の配線は参考図です。

ご要望に合わせてSPD及び接地端子台の数量、内部配線等を変更致します。

4. 設置及び接続方法

取付及び接続は以下のように行ってください。

- ①本器を所定の位置に取り付けます。
- ②接地極側ケーブルを下側の端子に、設備接地側ケーブルを上側の端子に接続します。
 - ① 適合電線は60mm²までです。
 - ① 尚、接続には圧着端子を使用してください。
- ③本製品は管体が樹脂製品のため、管体用の接地は必要ありません。



5. 接地極の抵抗測定

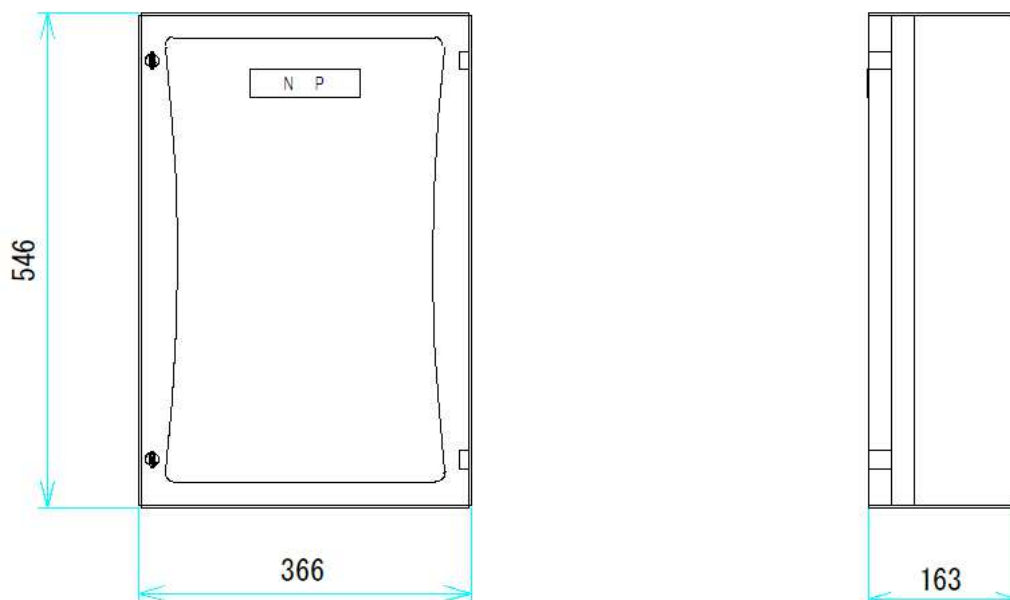
接地極の抵抗を測定する際は、接地端子台の短絡板を外し、設備接地との接続がないことを確認の上、行ってください。

短絡板は上下のビスを緩めると外せます。抵抗測定後は、必ず元に戻して下さい。

6. 外形図

正面図

側面図



7. 標準仕様

設置方法	屋外壁面据付型
寸法	W : 366 × H : 546 × D : 163
材質	グラスファイバー強化型ポリカーボネート樹脂
保護等級	I P 6 6
周囲温度	-25 ~ +70 °C
S P Dの試験クラス	クラス I
端子ネジ径	M 1 0
適合電線	6.0 mm ² まで

お問い合わせ：森長電子株式会社 耐雷プロジェクトチーム
電話：076-240-8111 ファックス：076-240-8112
〒920-0376 金沢市福増町南 1195